

各 位

会 社 名 朝日インテック株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 宮田 昌彦  
 ( 東証第二部・名証第二部 コード番号：7747 )  
 問合せ先 経営戦略室長 伊藤 瑞穂  
 ( TEL. 052-768-1211 )

## 2015年6月期第2四半期累計期間の連結業績予想と実績値の差異並びに 通期の連結業績予想の修正に関するお知らせ

2014年8月12日に公表いたしました2015年6月期第2四半期累計期間の連結業績予想と実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

また、最近の業績動向等を踏まえ、2015年6月期通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 第2四半期累計期間の連結業績予想値と実績の差異 (2014年7月1日～2014年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益(円)
前回発表予想(A)	15,655	3,295	3,282	2,155	67.25
実績値(B)	16,958	4,147	4,543	3,073	95.88
増減額(B-A)	+1,303	+851	+1,261	+918	+28.63
増減率(%)	+8.3	+25.8	+38.4	+42.6	-
(ご参考) 前期実績(2014年6月期中間)	13,170	3,136	3,266	2,470	77.51

(金額の単位：百万円)

#### 2. 通期の連結業績予想数値の修正 (2014年7月1日～2015年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益(円)
前回発表予想(A)	32,101	6,908	6,890	4,406	137.49
今回修正予想(B)	34,930	7,500	7,900	5,223	162.93
増減額(B-A)	+2,828	+591	+1,009	+816	+25.44
増減率(%)	+8.8	+8.6	+14.6	+18.5	-
(ご参考) 前期実績(2014年6月期通期)	28,145	5,995	6,099	4,360	136.50

(金額の単位：百万円)

注)1株当たり当期純利益につきましては、2014年1月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しているため、前期首に当該株式分割が行われたものと仮定し、株式分割後の数値を記載しております。

## 2. 差異及び修正の理由

### <第2四半期累計期間の連結業績予想値と実績の差異内容について>

売上高については、メディカル事業において、海外市場を中心に全地域で当社製品の需要が予想を上回ったことに加え、米欧通貨高なども後押しとなり、大変好調に推移したため、業績予想値と実績に差異が生じました。特に主力製品のPTCAガイドワイヤーや貫通カテーテル「ASAHI Corsair」が想定以上に好調に推移しております。

営業利益は、売上増に伴い売上総利益が増加したこと、販売費及び一般管理費について当初予定していたタイミングよりも発生が遅延したことなどにより、予想値を上回りました。

経常利益は、欧米通貨高の進行による為替差益の増加により、予想値を上回りました。

このような状況から、第2四半期連結累計期間につきましては、売上高・営業利益・経常利益・四半期純利益について業績予想値と実績値に差異が生じました。

### <通期の連結業績予想について>

通期連結業績予想につきましても、上記のとおり第2四半期連結累計期間の業績が大変好調に推移し、かつ第3四半期連結会計期間以降も順調に推移することが見込まれることから、2014年8月12日に公表した業績予想を上方修正することにいたしました。

第3四半期連結会計期間以降の売上高は、主力事業のメディカル事業が、国内海外共に当初予想以上に需要が高まることに加え、米通貨高なども後押しとなり、引き続き好調に推移する見通しであります。

一方、販売費及び一般管理費につきましては、第2四半期連結累計期間に発生予定であった取引が遅延し、第3四半期連結会計期間以降に発生する予定であることや、今後の成長に向けて研究開発や営業活動に係る費用を先行投資すること、為替の影響に伴い費用が増加することなどから当初予想を上回り増加する見込みであります。また、本日(2015年2月13日)別途開示した「非連結子会社の株式譲渡に関するお知らせ」に記載のとおり、子会社株式売却損失として約64百万円の特別損失が発生する見込みであります。

ただし、当初の想定以上に売上高が伸びることにより、これらの費用項目の増加を吸収するため、営業利益、経常利益、当期純利益につきましても、当初予想をそれぞれ上回る見通しであります。

第3四半期連結会計期間以降の業績予想における外国為替レートは、1米ドル=115.00円、1タイバーツ=3.65円、1ユーロ=130.00円、1中国元=18.50円に変更しております。なお、これに基づく通期の業績予想における外国為替レートの前提は、1米ドル=112.85円、1タイバーツ=3.53円、1ユーロ=135.31円、1中国元=18.23円となります。

なお、配当予想につきましては、現在のところ変更はありませんが、長期にわたり安定的な配当を継続して実施することを基本方針として、今期の最終連結業績、今後の業績見通しなどを総合的に判断して決定する所存であります。

#### ※業績予想に関する留意事項

上記の予想値は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報および合理的な仮定に基づいた推測を前提としております。従いまして、実際の業績は様々な要因により本資料に記載されたものと大きく異なる結果となる可能性があることにご留意ください。

以上